

1

## コージェネレーションと太陽光発電でエネルギーの地産地消を実現します

再生可能エネルギーである太陽光発電とコージェネレーションの電力を優先的に自家消費することにより、省エネや節電に貢献するシステムをご提案しています。

2

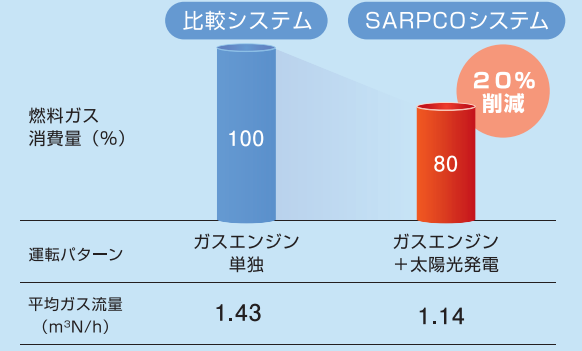
## 停電時にもコージェネレーションと太陽光発電の電力を供給できます

常用のコージェネレーションシステムと太陽光発電設備を、停電時には非常用として活用できます。BCP 強化の面からもおすすめです。

3

## 太陽光発電を優先的に稼働させることで非常時にコージェネレーションの燃料節約が期待できます

太陽光発電とコージェネレーションを同時に使用することで、コージェネレーションの発電出力を抑え、燃料を節約することができますので省エネに役立ちます。非常時に有限な燃料を消費する場面では、コージェネレーションの発電時間延長に役立ちます。

SARPCO システムによる停電時の省エネルギー効果  
【発電シミュレーションによる試算例】

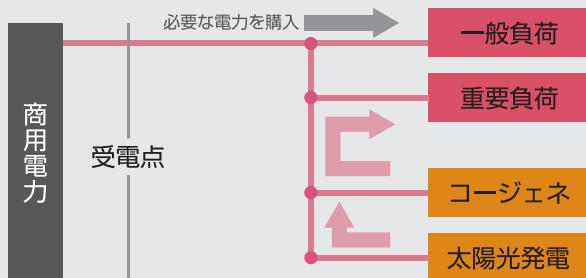
試算条件

- ・小型ガスエンジン発電機自立出力 3.0kW 太陽光発電システム容量 3.885kW の条件で比較
- ・太陽光発電日射条件：東京 方位：真南、傾斜 30°
- ・対象期間：7：00～17：00 の 1 年間の試算（年間推定太陽光発電量 4028kWh）
- ・太陽光発電量は、一般社団法人 太陽光発電協会の定める「表示に関する業界自主ルール（平成 24 年度）」に準じて推定発電量を算出しています。
- ・ガス発熱量（低位発熱量）：40.6MJ/m<sup>3</sup>N

## SARPCOのシステムフロー

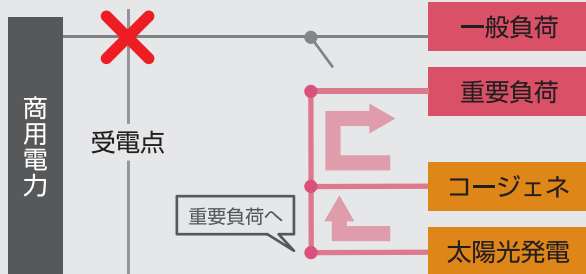
## ● 平常時のシステム

太陽光で発電した電力は自家消費にて使用します。



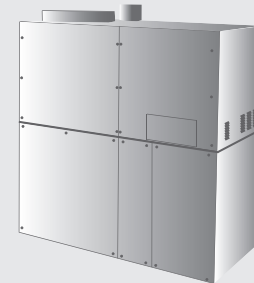
## ● 停電時のシステム

停電時には、非常用電源として機能します。



## 次のようなお客様におすすめします

## ● すでにコージェネレーションを導入しているお客様

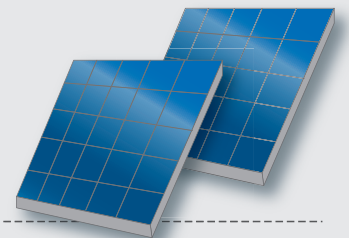


経済メリットがあり  
特におすすめします。

太陽光発電設備を導入することで  
購入電力を削減し、停電時にも  
電気を供給することができます。

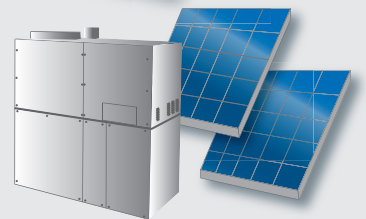
## ● すでに太陽光発電設備を導入しているお客様

コージェネレーションを併設すると、SARPCO システムにより太陽光発電設備を停電時にも、有効活用できます。



## ● コージェネレーション・太陽光発電設備の導入を検討しているお客様

導入を検討されている場合、非常時に備えて SARPCO による運用をおすすめします。



注) 1. 太陽光発電設備の出力は日射の影響により変動します。コージェネレーションの自立発電容量を上回る重要負荷は満足できません。2.SARPCO の使用できるコージェネレーション、太陽光発電設備には制約があります。3. 商用電源へ太陽光発電設備を連系させる際には、系統連系保護機能が作動しています。停電時に SARPCO を使用する際には、単独運転検出の機能を解除し、その他の保護機能は有効にします。4. 太陽光発電設備の出力がコージェネレーションに逆潮流しないよう、継電器を設置し太陽光発電設備の出力を制限します。5. 使用できる設備（供給先）には制約があります。

## お問い合わせ先



東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社  
エンジニアリングカンパニー

東京ガスグループ

URL : <http://www.tge.co.jp/>

〒144-8721 東京都大田区蒲田 5-37-1 ニッセイ アロマ スクエア 4F  
TEL : 03-5480-6810 (代表) FAX : 03-5480-6837

■ 首都圏営業部 03-5480-6814



東洋計器株式会社

〒390-1298 松本市和田3967-10 TEL.0263-48-1121(大代表)

E-mail : [info@toyo-keiki.co.jp](mailto:info@toyo-keiki.co.jp) URL : <http://www.toyo-keiki.co.jp/>